

『働く』を考える

～ 障がいのある方の就労支援を通して見える現状と課題 ～

毎年恒例、にし研修。今年度は『働く！！暮らす！！を考える』をテーマに年5回を予定して好評開催中です。今回はその第3回目。いよいよ「働く」についてです。

『働き方改革』『障がい者雇用の水増し』『ブラックバイト』『サービス残業』『ワーキングプア』。「働く」というキーワードだけで、少し考えてみてもとても多くのテーマが頭に思い浮かびます。そもそも何で「働く」のでしょうか。『お金のため？』『人の役に立ちたいため？』『夢を広げるため？』『生きがいのひとつ？』『社会参加？』『将来的に自分の収入で生活したい？』『周りから「働け！」と言われるから？』

働く動機・働き方は人それぞれ。その支援についても、働くための土台づくりや、働くまでの道筋をたてるなど、多岐に渡ります。しかし、ともすると「働く」ということだけをクローズアップし「障がい者雇用」「障がい者就労」は特別なことのように捉える世間の目や意識があるように感じます。今回は障がいのある方の就労支援を担う横浜市中心部就労支援センターの芝野さんより、就労支援センターの取り組みや仕組み、就職支援の現状と課題をお話しいただきます。その上で皆さまと初心に立ち返り、一緒に改めて「働く」について考えます。

皆さまのご参加、お待ちしております。

日時：令和元年10月17日（木）18：00～20：00

講師：芝野 奈緒子 さん（横浜中部就労支援センター）

参加：どなたでもご参加いただけます。 ※参加無料・申込不要

会場：生活創造空間にし 5階食堂

